

1 学校教育目標

○すすんで考える子

○明るく思いやりのある子

○健康でたくましい子

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	○『花畑第一、子供が第一』を指針とし、常に向上を目指す学校 ○児童一人一人の良さを伸ばし、知・徳・体をバランスよく身に付けさせる学校 ○近隣の保育園・小学校・中学校・特別支援学校と連携し、児童や保護者、地域から信頼される学校
○児童・生徒像	○自ら考え、判断し、行動できる子供 ○誰に対しても優しく、友達を大切にする子供 ○心身ともに健康で、最後まで粘り強く努力できる子供
○教師像	○専門職としての意識を高くもち、教育への情熱と愛情をもち、自己の職責を自覚し、責務を全うする教師 ○常に自己の指導力向上に努め、研鑽に励み、学び続ける教師

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

【学校の現状】

全教職員で、新型コロナウイルス感染防止策を徹底し、安心・安全な学校生活と児童の学びを保障している。状況に合わせて行事や学習内容を細かく見直し、体験的な活動を多く取り入れながら、「花畑第一、子供が第一」「さらに前へ」と日々前向きに努力している。

【前年度成果と課題】

- 学力向上 令和4年度足立区学習定着度調査実施結果 通過率2教科88.2%、前年度よりも約3ポイント上昇し、区平均を4.5ポイント上回った。算数に比べ国語が低いことから、継続して言語活動の充実を主軸にした基礎・基本のボトムアップを図る学習指導と児童の主体的な学習の充実を図る必要がある。特に、生活リズムが整わず遅刻して朝学習や授業の遅れがある児童のやり残しや個々のつまずきの分析と状況の改善策を検討し、学力の確実な定着を図ることが課題である。
- 心の教育の充実 挨拶運動や地域清掃、花いっぱい運動、エコキャップ回収運動などに取り組んだ。児童が考えた「いじめ根絶」「SDGs」「LGBT」に関連した標語やポスターを校内外に掲示し、人権作文発表会にも参加した。児童会が中心になってユニセフ募金にも取り組んだ。レガシー2020教育を推進し、アスリートや運動指導者から、競技やパラスポーツについて、障がい理解と自分たちができることなど、体験的に深く学ぶことができた。東京都の文化プログラム・学校連携授業実施校に選出され、様々な体験を通じた学びを推進することができた。
- 異校種・園との連携 都立花畑学園と連携し、3年生が学園の教員による乗り入れ授業や直接交流をすることができた。ユニバーサルリレーに参加したり、ポッチャ交流を行ったりもした。小中連携では3回の授業研究を公開し合い、近隣の教員間で研修に努めた。幼保小連携では、教員が相互に職場体験を行い、園児が学習発表会や1年生の授業を参観したり、給食試食会をしたりと、1・5年生が保育園児と直接交流することができた。
- 教員の指導力向上 ICT担当教員を中心に、状況に応じた研修に取り組み、タブレットを活用した指導やA Iドリルの活用の工夫など、実践的なスキル向上が図れた。より効果的な活用を教員相互で紹介しながら経験値を高め、G I G Aスクール構想の実現を目指していく。校内研究で国語の物語文を取り上げ、読む力の育成に努めていく。本校の学習面における課題意識を共有し、質の高い授業を目指して今後も授業改善に取り組んでいく。